

④ 野外ステージ(公園内)

練馬区の一大会事照姫まつり主会場

毎年4月「照姫まつり」の際にメイン会場となる場所で、2015(平成27)年に、総工費1億6,000万円をかけて大改修が行われた。それまでの旧円形ステージは、幅約20メートルの長方形ステージとなり、タイル貼りは疑木板張りに変わっている。また、観客席はサクラやケヤキなどの高木を伐採することなく、照姫まつり等を多くの人々が心地よく鑑賞できるよう、両脇と後方がさらに拡張された。ほか、会場内には災害発生時に利用出来る「かまどベンチ」6基も設置されている。



⑤ 池淵史跡公園

歴史の積み重なりを感じるところ

南を石神井川、北を三宝寺池と石神井池の南北の侵蝕谷に挟まれる舌状台地の中央部にあり、1956(昭和31)年から発掘調査が行われ、旧石器・縄文・弥生・古墳・中世の複合遺跡であることがわかった。発掘された旧石器時代の遺構や縄文時代の竪穴居住跡・炉跡・落し穴や中世の遺構等は、埋め戻されて区立池淵史跡公園となっている。史跡公園内には、旧内田家住宅や柱部分が復元された縄文時代の竪穴居住跡、区内道路工事などの際に移設された庚申塔・馬頭観音などの石造物がある。



⑥ 石神井公園ふるさと文化館

練馬区の歴史と文化の館

石神井公園ふるさと文化館は、豊かな歴史や自然に恵まれた石神井公園に隣接する場所に、2010(平成22)年3月に開館しました。練馬区の歴史や伝統文化、自然などについて、体験しながら楽しく学ぶことができ、観光情報も発信する新しい博物館である。1階の多目的会議室、2階ギャラリー・特別展示室の貸し出しも行っており、創作作品の展示・発表や様々な文化活動の場として利用されている。この文化館には隣接して石神井プールがあり、夏休みの期間には子どもたちで賑わう。



⑬ 三宝寺池(厳島神社・浮御堂)

武蔵野の水とみどり豊かな池

三宝寺池は、吉祥寺の井の頭池・杉並の善福寺池と共に武蔵野三大湧水地として知られており、その名は近在の三宝寺からきている。現在も、うっそうとした樹林に囲まれ、植物・昆虫類・野鳥・魚類・小動物などによる生態系が残っており、静かで貴重な自然環境が保全されている。三宝寺池の湧き水は石神井川沿岸の水田を潤す水源であったため、近世のころから池中には弁天社が祀られ、板橋・北区方面の農民の篤い崇敬も集めていた。明治の神仏分離令で厳島神社となり、今日に至っている。



⑭ 旧内田家住宅

郷愁を誘う茅葺き屋根の邸宅

旧内田家住宅は、練馬区中村にあった旧家を、2007(平成19)年、石神井公園ふるさと文化館の隣りに移設したもので、桁行8.5間(15.3m)梁間5.5間(10.9m)の整形四間取りの主体部と、その北西部に梁間3.5間(6.4m)、桁行2.5間(4.4m)の角部屋からなる茅葺きの寄棟造り、平入り建築物である。小屋裏で見つかった1889(明治22)年の年記のある文書や伝聞、建築当初からの洋釘の使用などから明治20年代初頭の建築と推定されている。



⑮ 石神井松の風文化公園

新しく出来た練馬区立公園

練馬区石神井台にあった旧日本銀行石神井グラウンドを練馬区が取得して、石神井松の風文化公園として、2014(平成26)年4月に開園した。主な施設として、多目的広場(野球やサッカー場)、テニスコート、花や木立の広場、久留米などのつつじ庭園、松林の広場、管理棟がある。管理棟は、ふるさと文化館分館として「練馬区にゆかりがある文化人」の展示室、五味康祐の資料室、オーディオ展示室、檀一雄の部屋(復元)、イベント室などがあり、広く市民に利用されている。(写真は管理棟外観)



石神井公園ガイドマップ

都立石神井公園は、武蔵野の面影を残す三宝寺池と石神井池を中心とした自然豊かな公園である。開園は1959(昭和34)年で、三宝寺池は善福寺池・井の頭池とともに武蔵野三大湧水地として知られていた。三宝寺池付近には厳島神社・浮御堂・石神井城址・殿塚・姫塚など見どころも多く、1935(昭和10)年に国の天然記念物に指定された沼沢植物群落や水辺の植物・昆虫・野鳥等が観察できる。また、池の西側には野鳥誘致林、北側の旧日銀グラウンド内には練馬区立石神井松の風文化公園、ふるさと文化館分館も設けられている。石神井池周辺には、石神井公園ふるさと文化館・池淵史跡公園・記念庭園・ボート乗り場があり、野外ステージでは毎年春には「照姫まつり」、ボート池では8月の第1土曜日には「灯籠流し」などが行われている。

① 石神井池(通称:ボート池)

明るく楽しい水辺空間

石神井風致協会が、1934(昭和9)年に三宝寺池より流出する川を堰き止めて作った人工池。天気の良い日には、釣りやボート遊びをする人で賑わう。多くの種類の水鳥が飛来し間近に観察することができる。ボート池の南側の台地は樹木が生い茂り、武蔵野の面影を色濃く残している。池の中には、羽衣をイメージした芸術家のモニュメントがある。石神井池の北側には大きな邸宅が建ち並び、ボート池の印象を明るくしている。また、8月最初の土曜日には、灯籠流しがある。



② 禅定院(照光山 真言宗智山派)

しだれ桜の美しい石神井の古刹

禅定院は、御府内八十八ヶ所霊場・豊島八十八ヶ所霊場の各七十七番札所となっている真言宗智山派の寺院である。「照光山無量寺」を号するこの寺は、願行上人の開基と伝えられており、阿弥陀如来を本尊としている。創建年代は不明である。境内には、1673(寛文13)年銘の織部灯籠(区登録文化財)があり、これはその十字や聖母マリアを模したような像容から、別名キリシタン灯籠とも呼ばれている。1874(明治7)年には、境内に区内最初の公立豊島小学校(現・石神井小学校)が開校している。



③ 記念庭園

大木に囲まれた安らぎの場所

記念庭園は、1916(大正5)年、石神井村元収入役の豊田銀右衛門が開園した日本風の庭園「第二豊田園」の名残りで、ミズキの大木等がひっそりとした佇まいの小さな池を取り囲むように生い茂っている。この池にも水鳥が飛来し、野鳥観察の穴場になっている。起伏の激しい散策コースは子供たちの冒険心を駆り立てることだろう。静かな佇まいの中、秋には紅葉がとてきれいで市民の憩いの場所である。近くでは、スケッチをする人、笛を吹く人、ヴァイオリンを弾く人などが散見される。



制作・著作:石神井まちづくりの会
代表:下河 秀行 監修:葛城 明彦
デザイン:長安 透

⑦ 道場寺(豊島山 無量院・曹洞宗)

清々しく落ち着いた寺域

石神井台1丁目に建つ道場寺は、中世の頃に付近を支配していた豪族・豊島氏の菩提寺となっていた曹洞宗の寺院で、石神井城が落城した際には焼失したともいわれている。室町様式の山門を入ると、左手に鎌倉様式の三重塔、右手に安土桃山様式・総檜造りの鐘楼、正面に奈良・唐招提寺の金堂を模した天平式の本堂、屋根には鴟尾。堂内に本尊の釈迦如来。客殿は京都・桂離宮を模した江戸様式。現在の本堂は天平の往時をしのび、唐招提寺の金堂を模して1937(昭和12)年より改築されたものである。



⑧ 三宝寺(亀頂山・真言宗智山派)

重厚な伽藍

本尊は不動明王で、御府内八十八ヶ所の第十六番。表参道の「守護使不入」の碑が示す、格式の高い寺で、石神井城落城後に太田道灌が小仲原(東方約500m、現在の禅定院付近)から現在地に移設したと伝えられている。三代将軍・家光の「御成門」として築かれた重厚な造りの四脚門があり、また境内には「四国八十八ヶ所のお砂踏み霊場」も設けられている。納経所の前のしだれ紅梅が見事。地蔵堂内では、東京芸大卒の曼荼羅美術家・染川英輔画伯の「新・六道曼荼羅図」原図も鑑賞できる。



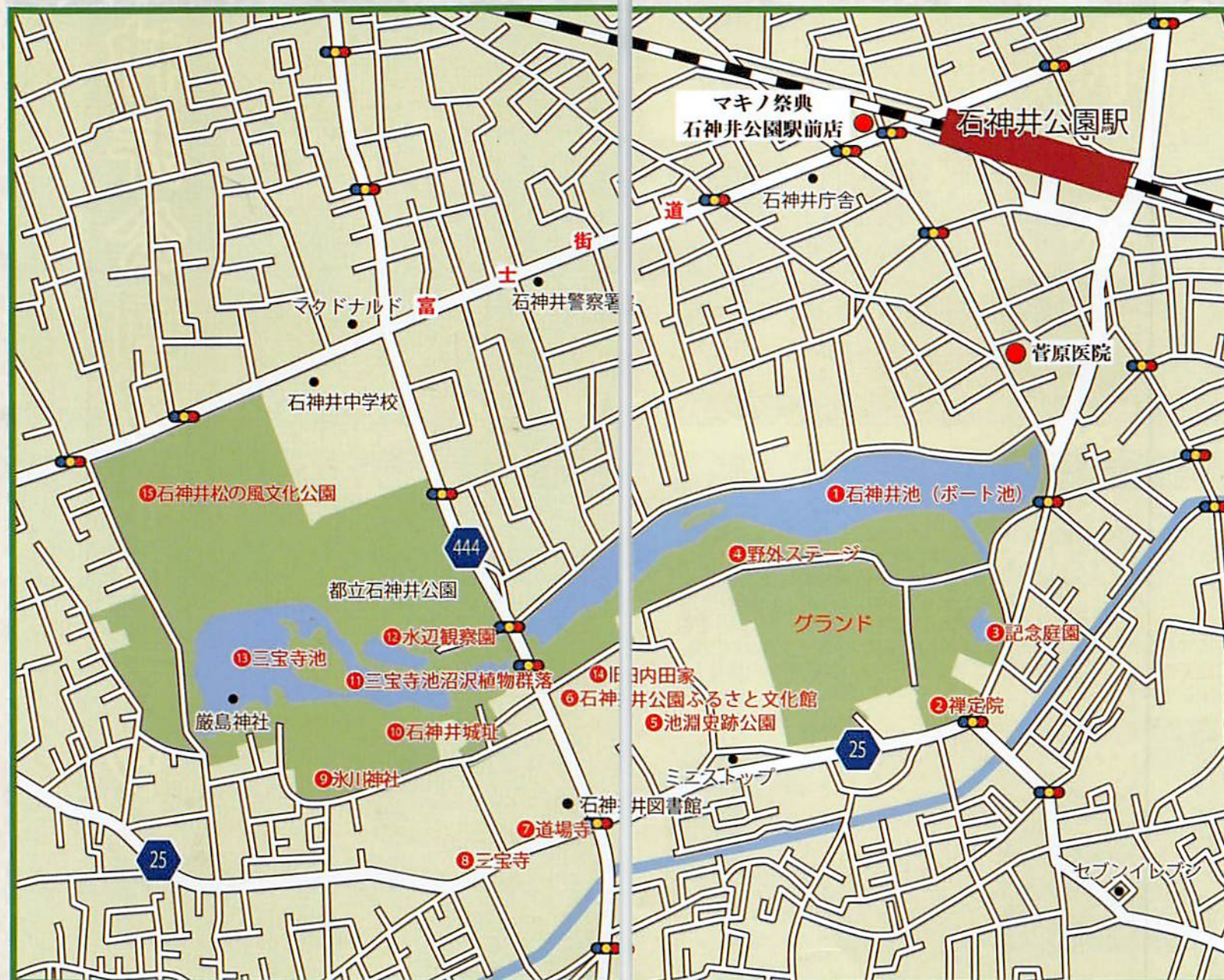
⑨ 氷川神社

石神井郷の総鎮守

祭神は主神が須佐之男命で、相神が稲田姫命と大己貴命。現存する御手洗鉢にも、「石神井郷鎮守社」と刻まれている。本社は室町時代に豊島氏が石神井城の中に城の守護神として祀ったのがはじまりで、社殿は本殿・拝殿ともに流造り。拝殿は、1901(明治34)年9月の落成。神楽殿は1937(昭和12)年の建立。二千余坪の広い境内には老樹が茂り、隣接する石神井公園とともに、本社境内周辺は早くから東京の風致地区・禁猟区に指定されてきた。正月の三ヶ日は、地元の参拝客で賑わう。



石神井公園ガイドマップ



⑩ 石神井城址

中世の面影を残す空間

中世の豪族・豊島氏の最後の本拠地。豊島氏は葛西・江戸氏らと同じく秩父平氏の一流で、鎌倉末期～室町期頃には石神井郷を領有していた。室町時代に城主・豊島泰経は関東管領の上杉顕定にそむいた長尾景春に味方したため、分家筋の扇谷上杉定正の家宰・太田道灌によって1477(文明9)年4月に城を攻め落とされている。なお、逃亡した泰経は翌年平塚城(北区)に籠っているが、以後の消息は不明である。城址内部は、毎年秋の「文化財ウィーク」の際に公開されている。



⑪ 三宝寺池沼沢植物群落

水河期からの生き残り

三宝寺池は、『江戸名所図会』にも掲載された江戸時代からの郊外の名所である。1935(昭和10)年、国の天然記念物として指定された沼沢植物群落には、当時50種ほどの水生植物があったとされるが、その後減少している。しかし、約2万年前の最終氷期に繁茂した遺存種・ミツガシワや、カキツバタ・コウホネ・ハンゲショウなどの「貴重水生植物」は、その他の「保護上重要な植物」と共に中の島(浮島)等の自生地でも現在も生育管理されている。



⑫ 水辺観察園

水音の聞こえるビオトープ

元々は三宝寺池の一部であった場所で、1920(大正9)年に日本で最初の100mプールが造られ、釣り堀に代わった後、1989(平成元)年に小川や池を配した水辺観察園となった。これは旧来の自然環境の復元を目的としたもので、一帯には水辺植物・昆虫類・野鳥などによるビオトープの世界が展開されている。また、一部は地元保護団体のボランティア活動の場にもなっており、「石神井公園野鳥と自然を守る会」では毎月ごとに園内の育成と保存管理を行っている。なお、現地では毎月観察会も開かれている。



診療科目

- 内 科
- 糖 尿 病 内 科
- リ ウ マ チ 科
- 胃 腸 内 科
- 循 環 器 内 科

菅原 医院

www.sugawara.or.jp
☎ 3996-3016

診療時間

● 平 日
午前9:00~12:30
午後3:30~7:00

● 土 曜
午前9:00~12:00
休診日:水曜/日曜/祝日

